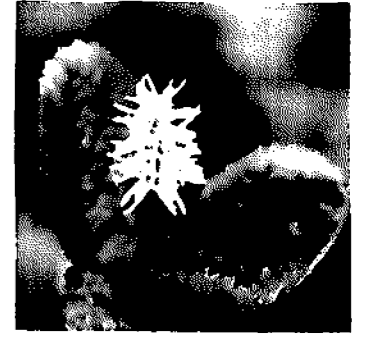


知床の森から



ヒトリシスカ ヒトリシスカ科
高さ 15 ~ 25 cm の多年草
低山の林内で見られます

北海道森林管理局北見分局 〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町 1 1 番地
知床森林センター Tel 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160
ホームページ <http://www.siretoko.knc.ne.jp/>

今年度最初のイベント、第26回「森とのふれあい」『森の手助け・植樹と炭焼き体験』を5月16日(日)に実施しました。

今回のイベントは、北海道国土緑化推進委員会から「緑と水の森林基金」事業助成金を受けての植樹と炭焼きを行う体験林業です。当日の参加者は25名で、家族や夫婦での参加も多く見られました。

午前中は知床の山で「植樹」、午後から知床森林センター事務所敷地に場所を移して「炭焼き」を体験して頂くとともに、今回から新たにセンターで作製した木炭を使った焼き肉での昼食も加わりました。

第26回 森とのふれあい

森の手助け・植樹と炭焼き体験

植樹木はアカエゾマツ200本です。朝方は曇っていた空も、段々と日が射し植樹には丁度良い天気となりました。

殆どの参加者は植樹が初めてで、鍬で穴を掘るのを大変苦労していました。

7歳の子供さんの参加もあり、自分の伸長より大きな鍬に悪戦苦闘して植えている姿に、横から見ている母親の優しい心遣いも見られました。

午後からは、センターに設置した炭焼き窯で炭焼き体験です。参加者の皆さんには、原木を切る作業から窯に詰めて着火までを体験して頂きました。

あらかじめセンター職員が炭焼きをして用意していたもう1台の窯から木炭を出し焼き具合について見てもらいました。

原木切りや、窯口閉めの粘土塗りでは「幼少に返ったみたい」だとても喜んでおり、簡単に炭焼きが出来ることも実感されたようです。帰りには、参加者全員に出来上がった木炭を持ち帰っていただき一日の新しい体験を楽しく終えることが出来たようです。

なお、昼食は自家製の木炭を利用した「焼き肉」と「おにぎり」です。午前中の力仕事を終えた皆さんは、センターで作製した木炭で早速焼き肉を始め、自家製の木炭と市販の木炭の火力を比べる人や、一生懸命お腹の空腹を満たす人などにぎやかな昼食風景となりました。



センターに可愛いお客さん!

5月18日知床森林センター事務所に、可愛いお客さんが来所されました。

このお客さんは、斜里町立朝日小学校5年生9名です。

朝日小学校では、子供達が環境との出会いを通じ自分たちで春の食材を探すこと・調べてみることで、また、その学習の過程で、地域の人々に聞いたりする事で人とのふれあう楽しさや、新たな学び方を気づいてもらうために行っています。

5年生は、自分たちでどこに聞きに行けば解るのかを調べ、その内の9名の子供達が知床森

林センターに訪れました。

子供達は早速、山菜はどのような場所に生えているのか、食べてはいけないものがあるのか身近にはどのような山菜があるのかを質問し、持ってきたメモ帳に熱心に記載していました。



(山菜について熱心に質問する朝日小の生徒)

知床は今

まぼろしの「ボンホロ沼」位置は、斜里町ウトロから知床峠、羅臼町に向かう国道334号線を、1.5Kmほど峠に向かい、途中から600mほど山にはいった盆地にあります。この沼は、春先の雪解け水が一時的に溜まってできる沼で広さは幅が約90m深さ約90cmの楕円形で、辺りが木々に囲まれた開けた所にあります。



(ボンホロ沼からラウス岳を望む)

沼の縁を通り対岸に向かい振り返ると、そこからは残雪の残る羅臼岳(1,661m)の勇姿が近くに迫って見られます。静かに佇んだ水面と青い空、周囲の樹々、芽吹きだした新緑が水面に映り、ウグイスの鳴き声も聞こえ、静かで澄みきった辺りの雰囲気神秘の様相を表し心を和ませてくれます。春先には、エゾアカカエルが産卵のために沼の周囲に集まり鳴き声をあげ、今は産卵を終えたカエルが周囲の笹原をはっていたり、オタマ

ジャクシガ黒く集団で見られ水中を泳いでいます。積雪量と気温にもよりますが、例年7月初めには水が濁れます。

後には、シソ科のエゾシロネとヒメシダが一面に生え、この濁れた沼の縁の一面で、羅臼岳を望みながら井当は最高です。

秋になると、ヒメシダが紅葉し絨毯のように染まり、周囲の樹々の紅葉とともに秋を迎える山々の様子も楽しめる秘めた場所で、今年もここ教育林を利用した森林レクリエーションを夏と秋に行ないます

斜里町内小学生、国有林で自然観察を実施

春の遠足行事に併せ、普段の生活とは異なる環境下で自然や文化に触れ見聞を広めることや、自分たちの住んでいる町にある自然を知りその営みを理解すること等を目的に、5月31日(月)斜里町立越川小学校の先生・生徒15名が、また、6月3日(木)斜里町立朱円小学校の先生・生徒45名が、斜里国有林(通称:「発見の森」)で、自然観察を行いました。

「発見の森」は、斜里町近郊にある保健保安林で、人工林や天然林から構成する多様な森林で、私たちの身近にありながら、動物や鳥類なども多く生息していること、堅穴住居などの先住民の遺跡などもあること、遊歩道なども整備されていることから、広く一般の方々に森林を散策できる場所として活用されています。両日とも自然観察にはまあまあの天気、センター職員から森林内での約束事などを説明また林野弘済会北見支部から生徒のみなさんの勉強に役立てて下さいと「知床の樹木カード」がわたされ、早速自然観察の開始です。森林内では、森林生態系について知っていただくために、樹木のこと、植物のこと、森林内に生息する動物のこと等様々な説明を行うと共に、ネイチャーゲーム等も交えながら行われました。

自然観察を終えた子供達は、森林を見て触れたことによって、森林をより身近なものと感じ取って頂けたものと考えています。

なお、両校の生徒の皆さんからお礼の手紙



(樹木の年齢を考える越川小の生徒)



(クマガウが開けた穴を見る越川小の生徒)

や、自然観察を行い感じたことを川柳にして送って頂きました。大変有り難うございます。全員のお手紙などを載せたいのですが、紙面の都合で2~3の内容を掲載します。

いろいろなことをおしえてくれてありがとう
 ありがとうございます
 あるいていていろんなものを
 みつけた。きつさの
 あまのおおきさや
 どうぶつのおもしろさ
 てよかったです。
 ほんとうにありがとうございました。
 かんじむらほびみ

稲川さんいろいろな事を説明してくださってありがとうございました。おかげでトビの葉の大きさや、フデリンドウ、マツボックリの事などかよく勉強になりました。それにミズナラの木は1時間に40cmも水を吸っているのに水を吸いあげる音が聞こえないなんてびっくりなんだなと思いました。あといろいろなプレゼントをいただきました。年輪、竹とんぼ、種のとび方の模型でいろいろな事がわかりました。例えは年輪の事でその木の年がわかることわかりました。あと植物の事がよくわかりました。エンレイソウは、花がさくまで15年かかるなんて、初めて知りました。エンレイソウの花がさいているのは、ほより年をしていなんて信じられないなと思いました。
 稲川さん、わかりやすく説明してくれてありがとうございました。すごく勉強になりました。今度行く時いろいろ教えてください。
 岡本賢治

(越川小学校からのお礼の手紙)



(ネイチャーゲームに挑戦する朱円小の生徒)



(元気よく自然観察する朱円小の生徒)

た
か
れ
て
る
じ
。木
は
森
の
か
ん
こ
の
た
朱
円
小
学
校
の
森
見
の
森
で

森
に
あ
る
草
虫
木
々
の
王
国
が
朱
円
小
学
校
上
の
森

(朱円小学校から届けられた川柳)

知床国立公園カムイワッカ地区 自動車通行規制のお知らせ

カムイワッカ地区の自然環境保全と渋滞緩和のため、交通規制を行いますのでご協力をお願いします。
 カムイワッカ方面へは、シャトルバスをご利用下さい。

規制路線
 ① 道道知床公園道の知床五湖以南(標高の地図参照)

規制車両
 ② 路線バス(シャトルバス)及び自転車を除く一般車両
 ※ 車両は道路を閉鎖しますのでご注意ください。

規制期間
 ③ 11年7月26日(月)~11年8月10日(火)の16日間(終日)

? 問い合わせ先
 環境庁知床国立公園ウトロ管理官事務所
 ☎01522-4-2297
 斜里町環境保全課自然保護係
 ☎01522-3-3131(代)
 北海道網走支庁環境生活課自然環境係
 ☎0152-44-7171(代)
 ※ バス運行について
 斜里バス ☎01522-3-3145
 ※ ホームページ
<http://www.ohotoku26.or.jp/organization/shari/kanko/trfcctri.htm>